

四国森林管理局入札等監視委員会 審議概要

(ホームページ掲載日：平成29年10月17日)

開催日及び場所		平成29年9月21日(木曜日) 四国森林管理局 1階会議室		
委員		斉藤 章 (公認会計士) 坂本 伸廣 (税理士) 中内 功 (弁護士)		
審議対象期間		平成29年4月1日～平成29年6月30日		
審議対象案件		209件 うち、1者応札案件 80件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件		
抽出案件		22件(抽出率11%) うち、1者応札案件 5件 (抽出率6%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件 (抽出率0%)		
抽出案件内訳	工事	一般競争		5件 うち、1者応札案件 1件
		指名競争	公募型指名競争	該当なし
			工事希望型競争	該当なし
			その他の指名競争	該当なし
		随意契約		該当なし
	業務	一般競争		2件 うち、1者応札案件 0件
		指名競争	公募型競争	該当なし
			簡易公募型競争	該当なし
			その他の指名競争	該当なし
		随意契約	公募型プロポーザル	該当なし
			簡易公募型プロポーザル	該当なし
			標準型プロポーザル	該当なし
			その他の随意契約	該当なし
	物品・役務等	一般競争		12件 うち、1者応札案件 4件
		指名競争		該当なし
		随意契約(企画競争・公募)		1件
		随意契約(その他)		2件
	(特記事項) なし			

	意見・質問	回答等
委員らの意見 ・ 質問 それに対する回答等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 収穫調査業務の入札に参加できるのは、予め指定調査機関として登録された者とのことだが、登録されている者はいつも入札に参加している2業者だけか。</li> <li>・ 四国森林管理局庁舎昇降機設備保守点検業務において、予定価格に対し落札率が非常に低い、予定価格はどのように積算しているのか。</li> <li>・ 入札公告において、工事の競争参加資格で「当該工事の施工計画に係る技術提案書が適正であること」と記載されている工事と記載されていない工事があるのはなぜか。</li> <li>・ カラーデジタル複合機の契約で、落札率が極端に低いものがあるが、予定価格の積算方法について検討することが必要ではないか。</li> <li>・ 入札結果分析表について、入札結果を明記するだけでなく、詳しく分析できるものにできないか。</li> <li>・ 前回の委員会で、物品の購入等で1者応札となったものがあれば、1者応札となった原因を調査し改善策を検討しているとのことだったが、検討結果はどうなったか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 四国森林管理局では指定調査機関として4業者登録しているが、現場での作業ができる者を確保できない等の理由から、入札に参加しているのは実質2業者である。</li> <li>・ 予定価格の積算については、建設物価をもとに昇降機の規模に応じた1基あたりの保守費用に付加機能等の点検費用を加算し、積算しているが、他の積算方法がないか、市場価格、他局の事例等を参考に検討したい。</li> <li>・ 簡易型総合評価落札方式により行う工事では、予定価格が4千万円を超えない比較的簡単な工事については「施工計画に係る技術提案書」の提出を省略しているためである。</li> <li>・ 複数の者から見積りを徴して予定価格を積算しているが、過去の事例等も踏まえ、他の積算方法について検討したい。</li> <li>・ 入札結果分析表は様式として定められたものであるが、より詳しく分析できる様式に改めることができないか、本庁に確認したい。</li> <li>・ アンケート等により、1者応札となった原因を調査したところ、入札を実施することを知らなかったという意見もあったことから、入札情報をメールマガジンにより配信することとした。</li> </ul>
	委員会による意見の具申又は勧告の内容  [これらに対し部局長が講じた措置]	特になし